

# 子どもの化学物質汚染

## ～農薬を通して見えてきたもの～

今、子どもたち(大人も含め)を取り巻く危険な化学物質の話をしたと思います。

食べる農薬もさることながら、食よりもっと恐ろしい農薬による空気汚染は、だれも避けることができないのです。

ぜひ、子どもたち(大人も含め)を守るため、みなさん一緒に考え、学習しましょう。そして私達もたとえ小さな一歩でも具体的な行動を起こしましょう。

### 講師紹介

看護師・環境アレルギーアドバイザー。看護師、高等看護学院講師を務めたのち、結婚。息子が小学校5年生のときにシックスクール症候群になり、「小樽・子どもの環境を考える親の会」を立ち上げる。現在は、会の運営、講演会、アレルギーや化学物質過敏症などの相談、行政への仲介・要望などに携わるかたわら、アレルギーや化学物質過敏症の方が買い物ができる「絵本と環境雑貨の店ワオキツネザル」を経営



神 聡子氏 Jin satoko  
小樽・子どもの環境を考える親の会代表



【内容紹介】なぜ安全性の確認をせず市場にでてくるのか、なぜ海外で危険かもしれないという研究結果があるにもかかわらず製造・販売を中止しないのか。将来、子どもにどんな影響がでるかかわからないものが、なぜ野放しになっているのか、売れさえすればいいのか。

ネットで生中継します！  
ご自宅で視聴できます(事前申込)



と き 2020年 **12月5日(土)**  
14:00~16:00  
場 所 札幌エルプラザ 中研修室  
札幌市北区北8条西3丁目  
参加費 500円(学生・Zoom参加無料)  
定 員 40名(三密を避けるため)

Zoomで参加(視聴)ご希望の方は [iryoy9jyo@gmail.com](mailto:iryoy9jyo@gmail.com) にご連絡ください。URL(視聴方法)をお知らせします。

2020年9月26日

〒048-0406 北海道寿都郡寿都町渡島町 140-1

寿都町

寿都町長 片岡春雄 様

医療九条の会・北海道

【連絡先】札幌市北区北14西3 1-12

Tel: (011)758-4585 <http://iryo-9jyo.net/>

寿都町長の高レベル放射性廃棄物最終処分場選定文献調査応募意向に対する

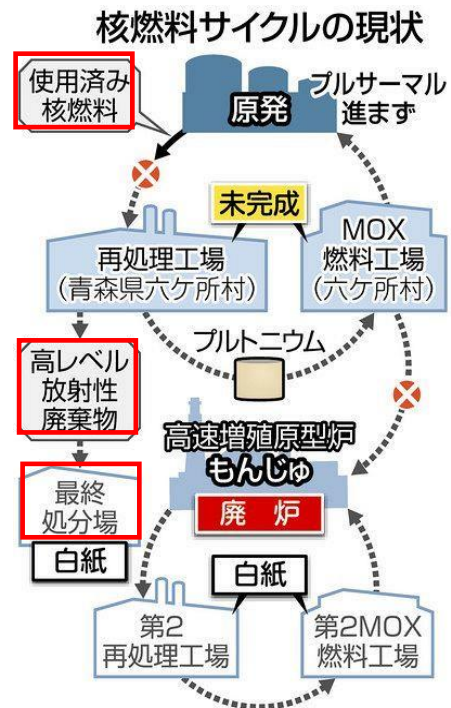
医療九条の会・北海道の声明

2020年9月24日

1. 原発から出る高レベル放射性廃棄物(次頁解説参照)の最終処分場選定の文献調査に寿都町長が応募の意向を表明し、近日中に議会にかけたいと報道されています。
2. 医療九条の会・北海道は、医療者の立場から、ひとたび事故が起きたなら取り返しのつかない命と健康の被害をもたらす原子力発電そのものを早急に廃止する必要があると、原子力発電の継続を前提とした高レベル放射性廃棄物処分場設置計画自体に反対です。
3. 本会は、今回の寿都町長の「高レベル放射性廃棄物」文献調査応募が、寿都町だけでなく、周辺市町村、北海道、ひいては日本全体に原子力発電の負の遺産をさらに増やすきっかけになる極めて大きな問題であると考えます。これは今生きている私たちだけでなく、将来の数万世代の子孫の生活環境、健康に影響する大問題です。
4. このような日本全体に大きな影響をもたらす問題を一町長、一地方議会の考えだけで決めることは、まったく民主的ではありません。高レベル放射性廃棄物の問題は、原発そのものの可否も含めて、様々な意見があり、一様ではありません。多くの人々の考えを共有し、討論し、未来の世代に責任を持つことのできる結論を出す必要があります。
5. 寿都町長のお考えに対して、賛成の方も反対の方も、判断を保留されておられる方も、ともに話し合おうではありませんか。それは一町、一道だけで済ませてはなりません。日本全体で話し合う必要があるのではないのでしょうか？
6. 本会は、今回の寿都町長の高レベル放射性廃棄物(文献調査)応募意向に関する大討論会を提起したいと思えます。

以上

【解説】「**高レベル放射性廃棄物**」とは、原発の使用済み核燃料を再処理してプルトニウムやウランを取り出した残りの極めて放射線レベルの高い放射性物質の「かたまり」です。そのそばに20秒いるだけですべての人が死亡する放射能があります。これをガラスに封じ込めて地下深く埋めることのできる場所（**最終処分場**）がないと、いわゆる「トイレなきマンション」状態となり、日本の全原発を廃止しなければなりません。どこか一か所でも「埋めてもいいかどうか調査させてあげます」という自治体が名乗りを上げるだけで、政府は「トイレは確保したから、原子力発電を続けられることになった」として、原発廃止をしない口実として利用しようとしています。「最終処分場」の文献調査に応募したいとする寿都町長は、事実上、政府のトイレ作りを進める役割を果たしています。



<https://www.tokyo-np.co.jp/article/45750>  
 図は東京新聞2020年7月30日付記事より引用